

母子加算廃止は認められない



道庁6階保健福祉部の部屋で、伊藤参事に手渡す代理人

22人が道知事に審査請求

母子加算はやめないで

2人分の生活費で3人暮らす。
4月から1日1食で我慢

北区のF・Kさん四一才

十八才と十四才の子と三人世帯

今年、長女が短大に進学しました。長女の将来のことを考えて、進学を決めました。世帯分離したので2人分の生活費で3人が生活しなければなりません。

長女は、学校が大変で、夕方7時頃にならないければ帰ってこられず、アルバイトをしたくても出来ない状態です。奨学金も申し込んでいます

審査請求した単組と人数

札幌区	5人
札幌東区	2人
札幌手稲区	2人
札幌中央区	4人
札幌函館小樽	2人
札幌小樽	1人
札幌小樽	6人
合計	22人



記者クラブで記者会見

ふくしの窓

北海道生活と健康を守る会連合会(道生連)

札幌市西区八軒8条東5丁目4-20

TEL (011) 736-1722

FAX (011) 736-1688

2007年5月19日 520号



が、まだ支給されていません。私は、スーパーマーケットでパートの仕事をしています。収入は月額およそ十一万円くらいです。生活費は、月の最初の1週間くらいでなくなってしまう、私は一日一食しか食べられません。そんな生活が四月からつづいています。母子加算の縮小は本当に死活問題です。何とか母子加算が廃止にならないようして下さい。